

《二〇二五年度 第二回試験 国語》解答例

一

- ① きはつ ② はいしやく ③ しおめ
④ 破られた ⑤ 述べる ⑥ 命名 ⑦ 青松 (2点×7)

二

問一 1 ウ 2 イ 3 エ (2点×3)
問二 ランクを下げる (4点)

問三 エ (3点)

問四 相手のことをおとしめることなく、からかって笑いを取ること。【二十九字】

(6点)

問五 オ (3点)

問六 相手が自分に対して敬意を示すという情報と食いちがうこと。【二十八字】

(6点)

問七 (1) ウ・オ (順不同 4点×2)

(2) 人間はオンラインのことばも、オフラインと同じように解釈するクセがあるので、オンライン時代の特別ルールについていくことが難しいことについてつけてやりとりをするべきだ。 (7点)

三

問一 1 ウ 2 イ 3 エ (2点×3)

問二 エ (4点)

問三 ちさとと貴緒の、同じ大学に行くことを目指すという以前からの約束をなしにすること。【四十字】 (6点)

問四 オ (4点)

問五 ア (5点)

問六 家庭環境が悪く、自分では悲しいと思っていてもどうすることもできない貴緒は、自分の好きなものだけは大事に守り通してきた、ということにちさととは気づかず、貴緒が好きな美術を否定するような最低の態度をとってしまったこと。

(8点)

問七 (1) ちさととは出会えなかった【十二字】 (4点)

(2) ちさとに似せた髪型にすることで、ちさとのことを忘れたくない【二十九字】 (6点)